



MID-NET[®]
Medical Information Database Network

MID-NET[®]の利活用（基礎編） ・試行的調査結果について

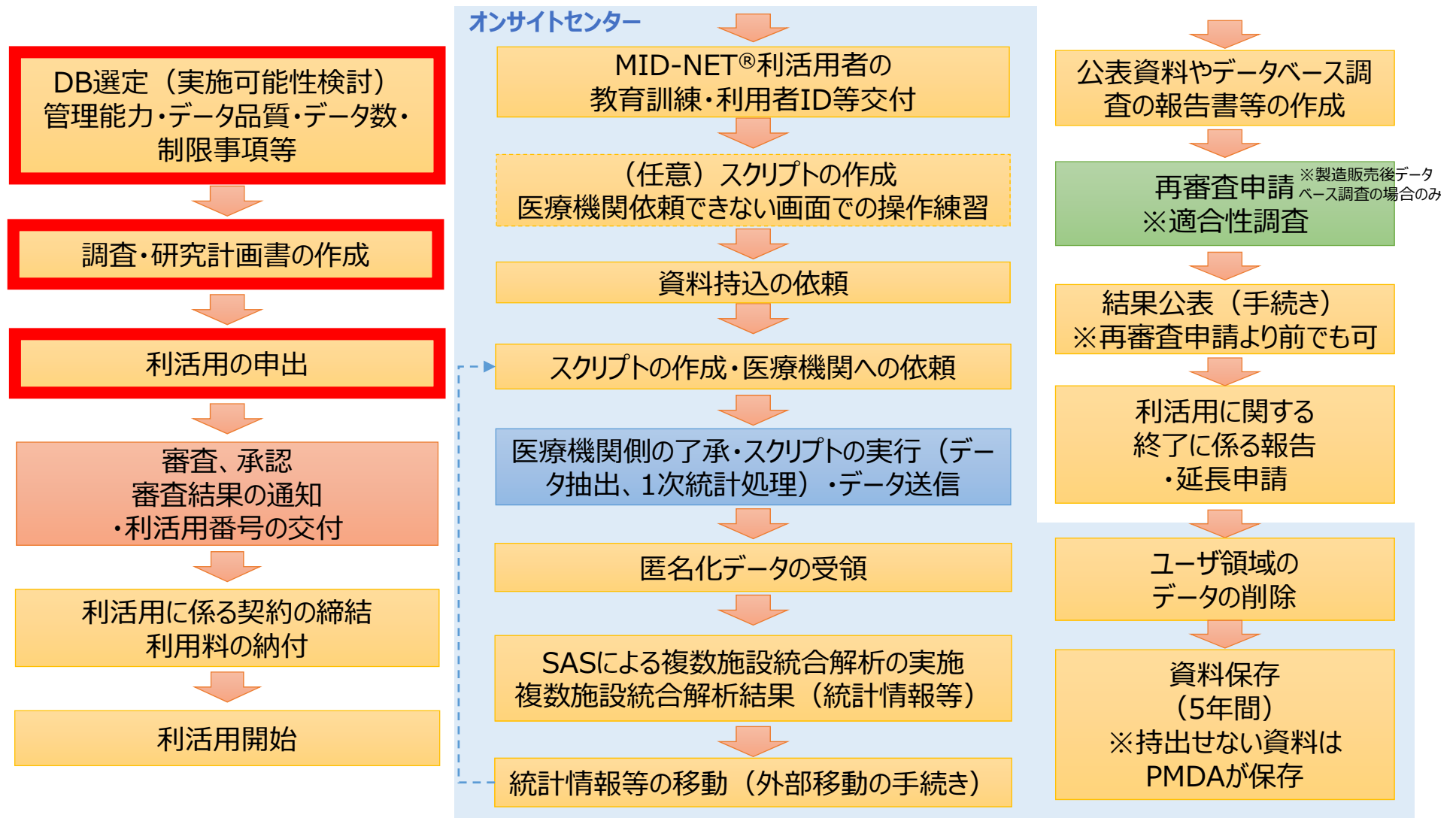
独立行政法人 医薬品医療機器総合機構
医療情報活用部

本日の内容

- 本研修では、利活用の流れのうち、太枠で囲んだステップについて試行的調査の事例（一部改変）に基づき、基礎的な内容を説明。



本日の内容



DBの選定（事前確認のポイント）

- データベースを用いた調査を計画する場合には、利用可能なデータベースの特徴を事前に確認した上で、適切なデータベースを選択する必要がある。

データベースを選択する際の事前確認のポイント（例）		MID-NET®の特徴
1 調査の対象者の特定可能性	<ul style="list-style-type: none">データベースに集積されたデータ期間はリサーチ・クエスチョンに照らして、適切か？データベースに集積された患者集団から調査対象者が特定可能か？	<ul style="list-style-type: none">2009年以降のデータが集積されている。ただし、医療機関及びデータ種別毎にデータ期間の開始時点が異なる場合がある。協力医療機関は大学病院が中心であるため、慢性期の患者を対象とすることには限界がある。
2 曝露データの取得可能性	<ul style="list-style-type: none">調査対象とする曝露を受けた症例が特定可能か？また、ある程度の症例数が見込まれるか？	<ul style="list-style-type: none">協力医療機関は大学病院が中心であるため、急性期の患者に使用される医薬品は取得可能性がある。診療所で使用されることが多い医薬品は調査に十分な数が見込めない可能性がある。
3 アウトカムデータの取得可能性	<ul style="list-style-type: none">調査対象とするアウトカムが、データベースに含まれる情報から特定可能か？	<ul style="list-style-type: none">電子カルテデータ、レセプトデータ、DPCデータ等から、多様な情報を得ることが可能であり、臨床検査値の変動を捉えることも可能。他の医療機関を受診した場合の追跡性には限界がある。

その他、データベース選定については、製造販売後の医薬品安全性監視における医療情報データベースの利用に関する基本的考え方について（平成29年6月9日薬生薬審発0609第8号、薬生安発0609第4号）をご参照ください。

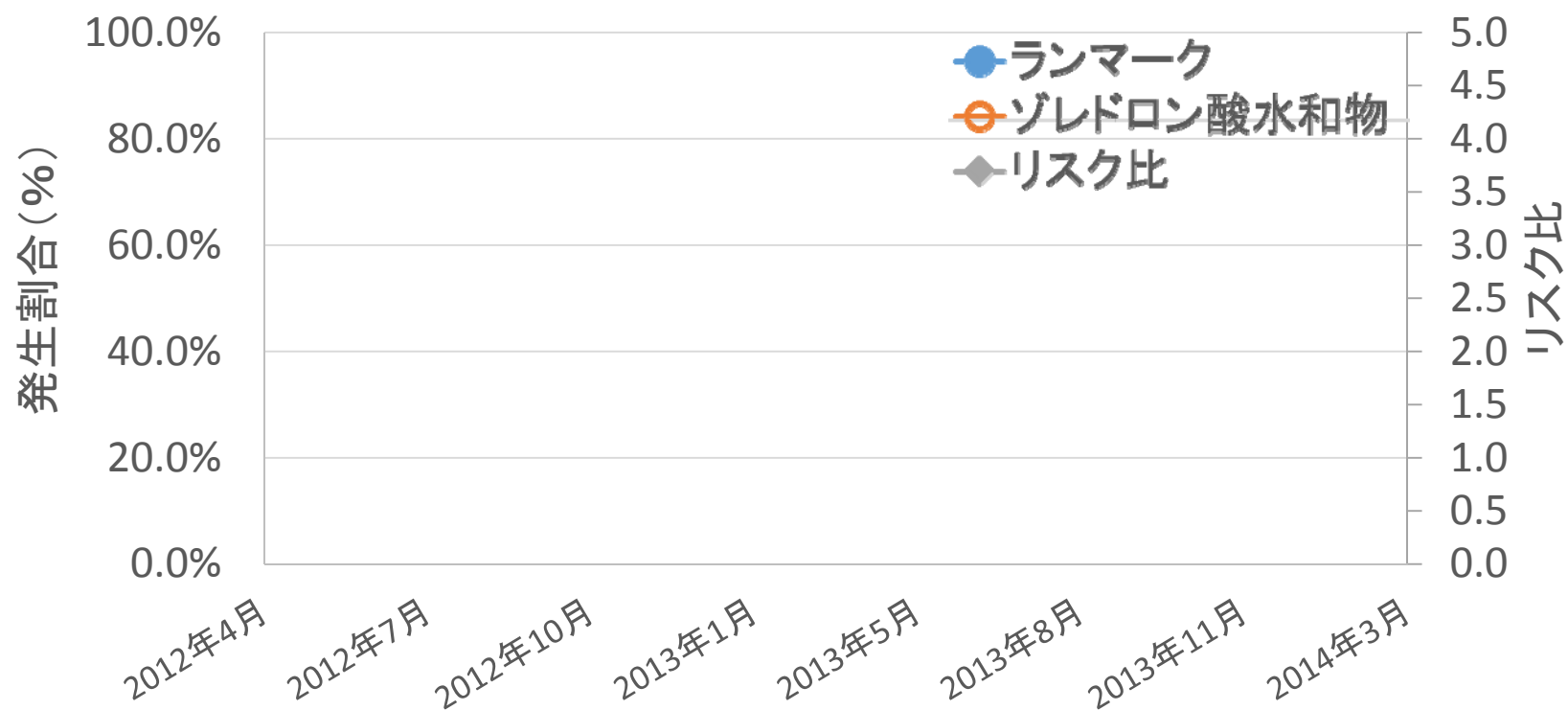
調査・研究計画書の作成

- 調査・研究計画書を作成する場合には、以下を参考にすることが望ましい。
 - ✓ 製造販売後データベース調査実施計画書の記載要領
 - ✓ 医療情報のデータベース等を用いた医薬品の安全性評価における薬剤疫学研究の実施に関するガイドライン
- 調査・研究計画書には、想定される結果の表示例を盛り込むこと。

試行的調査（結果の表示例）

年月	time _t	intervention _t	time after intervention _t	ランマーク			ゾレドロン酸水和物		
				併用割合	発生割合	リスク比	併用割合	発生割合	リスク比
2012年4月	1	0	0						reference
2012年5月	2	0	0						reference
2012年6月	3	0	0						reference
2012年7月	4	0	0						reference
2012年8月	5	0	0						reference
2012年9月									
2012年10月	7	1	1						reference
2012年11月	8	1	2						reference
2012年12月	9	1	3						reference
2013年1月	10	1	4						reference
2013年2月	11	1	5						reference
2013年3月	12	1	6						reference
2013年4月	13	1	7						reference
2013年5月	14	1	8						reference
2013年6月	15	1	9						reference
2013年7月	16	1	10						reference
2013年8月	17	1	11						reference
2013年9月	18	1	12						reference
2013年10月	19	1	13						reference
2013年11月	20	1	14						reference
2013年12月	21	1	15						reference
2014年1月	22	1	16						reference
2014年2月	23	1	17						reference
2014年3月	25	1	18						reference

試行的調査（結果の表示例）



試行的調査（背景と目的）

リスク最小化策の効果を評価し、適正使用を推進する
～ランマーク®皮下注120mgによる重篤な低カルシウム血症について～

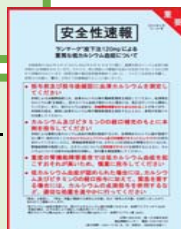
**ランマーク®皮下注
120mg販売開始**
(2012.4.17)

効能・効果（販売開始当時）
多発性骨髄腫による骨病変及び固形癌骨転移による骨病変

添付文書改訂
使用上の注意の追記
(2012.7)

自発報告による症例集積
重篤な低カルシウム血症32例
因果関係が否定できない死亡2例
(2012.8.31)

安全性速報(ブルーレター)
発出
更なる適正使用を喚起
(2012.9.12)



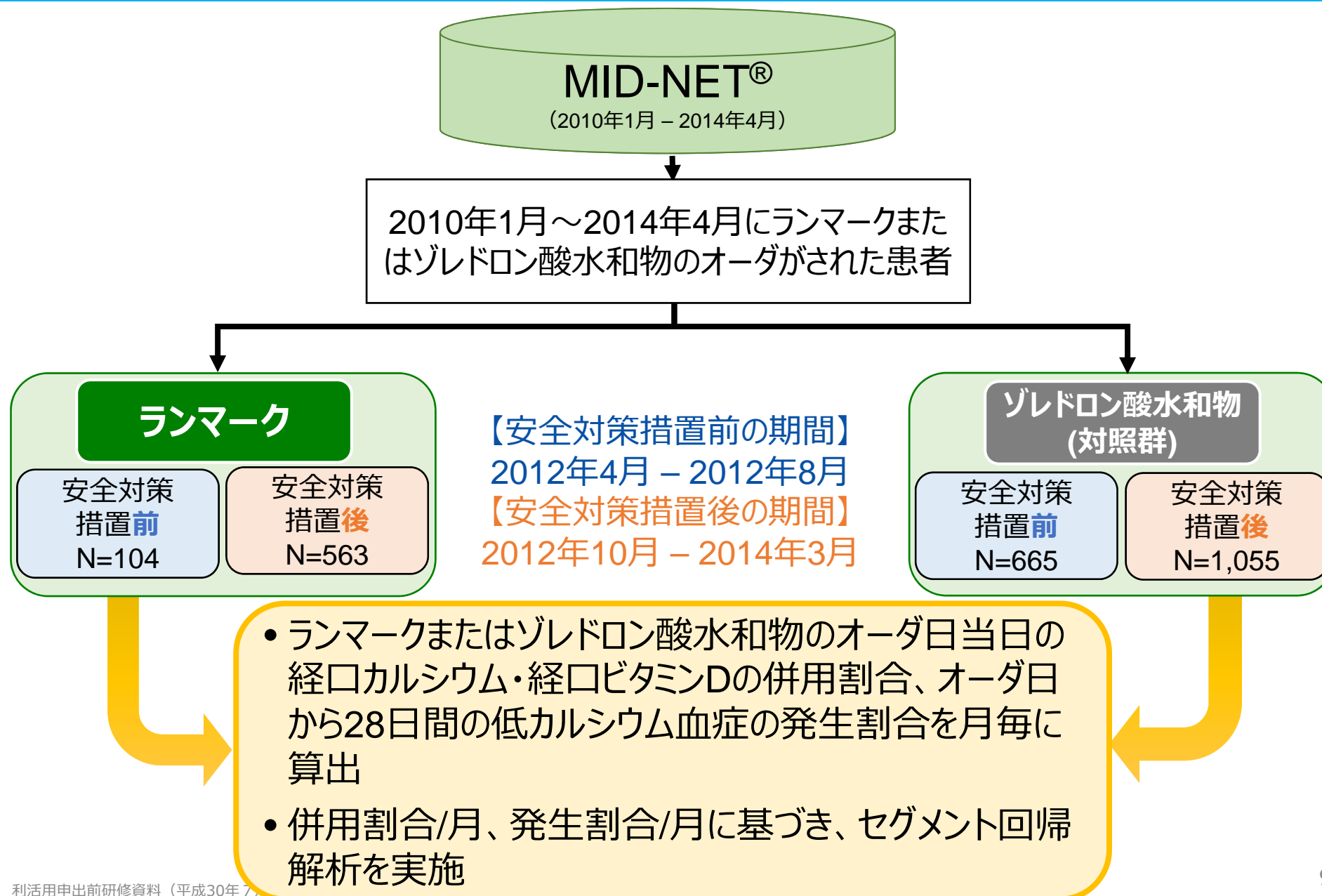
ブルーレター（一部抜粋）
使用上の注意に「警告」を加えて注意喚起することに致しました。

- 投与前及び投与後頻回に血清カルシウムを測定してください
- カルシウム及びビタミンDの経口補充のもとに本剤を投与してください。

調査の目的

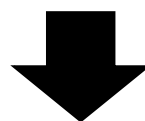
MID-NET®を用い、ブルーレターによるリスク最小化策の効果を評価する

試行的調査（方法）



試行的調査（DB選定の結果）

データベースを選択する際の事前確認のポイント（例）		DB選定の結果
1 調査の対象者の特定可能性	<ul style="list-style-type: none">データベースに集積されたデータ期間はリサーチ・クエスチョンに照らして、適切か？データベースに集積された患者集団から調査対象者が特定可能か？	<ul style="list-style-type: none">調査に用いる処方・注射オーダ、検体検査情報については、2010年1月～2014年4月期間のデータがMID-NET®で利用可能である。調査対象とするランマークまたはゾレドロン酸水和物がオーダされた患者集団はMID-NET®で特定可能である。
2 曝露データの取得可能性	<ul style="list-style-type: none">調査対象とする曝露を受けた症例が特定可能か？また、ある程度の症例数が見込まれるか？	<ul style="list-style-type: none">ランマーク及びゾレドロン酸水和物は、MID-NET®の協力医療機関で処方実績があり、数千例程度の症例数が見込まれる。
3 アウトカムデータの取得可能性	<ul style="list-style-type: none">調査対象とするアウトカムが、データベースに含まれる情報から特定可能か？	<ul style="list-style-type: none">低カルシウム血症の定義に必要な血清カルシウム、血清アルブミンの検査結果が、MID-NET®から取得可能である。




調査の目的に照らして、MID-NET®の利用が適切であると考えられたため、MID-NET®を用いた調査を実施した。

利活用の申出とは

- MID-NET®の利活用を行う場合には、PMDAに対して申出を行い、利活用に関する承認が必要。

MID-NETの利活用に関する申出書に記載する内容

1. 利活用の区分に関する情報
2. 利活用契約者に関する情報
3. MID-NET利活用者に関する情報
4. 統計情報利活用者に関する情報
5. 代理人の情報
6. 連絡代表者の情報
7. **利活用の内容等** 
8. 利活用者の利益相反の管理状況
9. 利活用期間終了後のデータ保管期間
10. 利活用に当たって禁止された事項
11. 過去の利活用に係るデータの復元
12. 事前確認の依頼の有無

- MID-NETの利活用に関する申出書は最新の様式に従って作成をお願いします。

7. 利活用の内容等に記載する事項

- ① 調査・研究の名称
- ② 調査・研究の必要性
- ③ 調査・研究の概要
 - 調査・研究計画書案の標題
 - 調査・研究の目的
 - デザイン及び解析手法等
 - 利活用を予定する情報の範囲
 - 各協力医療機関からの転送を希望するデータの種類
 - 処理依頼を行う予定の協力医療機関名
 - 利活用する予定のテーブル名
 - 抽出条件（抽出スクリプトの条件）
- ④ 利活用に関する工程
- ⑤ 利活用するオンサイトセンター
- ⑥ 利活用情報の管理方法
- ⑦ 利活用成果の公表内容及び公表方法
- ⑧ 外部委託等の有無

調査・研究計画書案の提出が必要

③調査・研究の概要（調査・研究の目的、デザイン・解析手法等の記載例）

- 調査・研究の目的：

- ランマーク®皮下注120mgによる重篤な低カルシウム血症に対して2012年9月11日に発出された安全性速報が、経口カルシウム・経口ビタミンDの併用割合及び低カルシウム血症の発生リスクに対して与えた影響をゾレドロン酸水和物を比較対照として評価する。

- デザイン・解析手法等

- Interrupted time seriesデザインを用いたセグメント回帰解析を実施する。ランマークの処方及びゾレドロン酸水和物の処方に対する①経口カルシウム・経口ビタミンDの併用割合、②低カルシウム血症（血清補正カルシウム値が8.5mg/dL未満）の発生割合を月単位で算出する。併用割合/月、発生割合/月を目的変数、観察開始時点からの経過時間、措置の有無、措置開始からの経過時間を説明変数としたセグメント回帰分析を行う。

③調査・研究の概要（利活用を予定する情報の範囲の記載例）

スライド15～18で説明

● 利活用を予定する情報の範囲

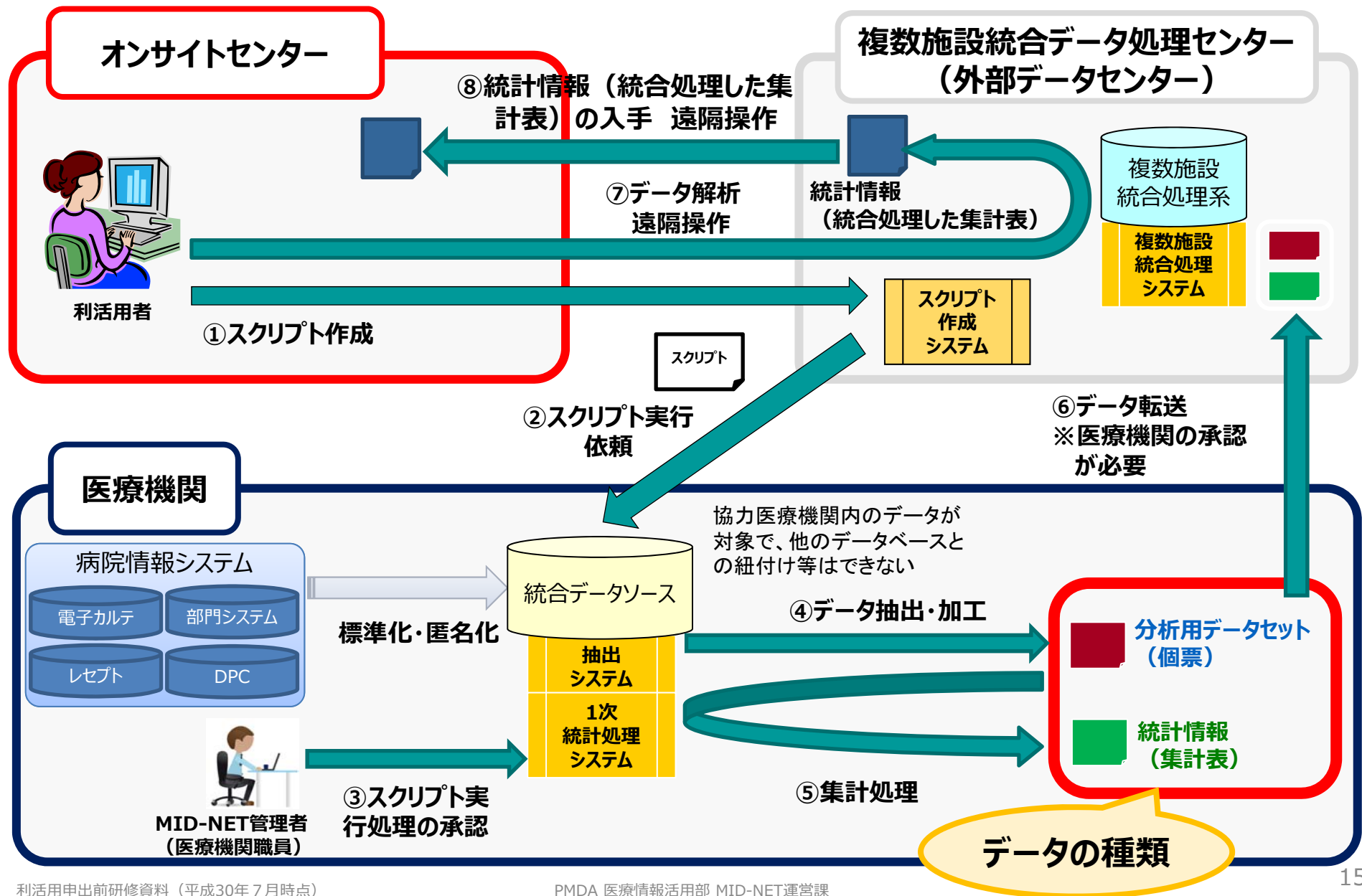
(1) 各協力医療機関からの転送を希望するデータの種類

■ 分析用データセット	■ 統計情報
■ 基礎的検討による集計表	

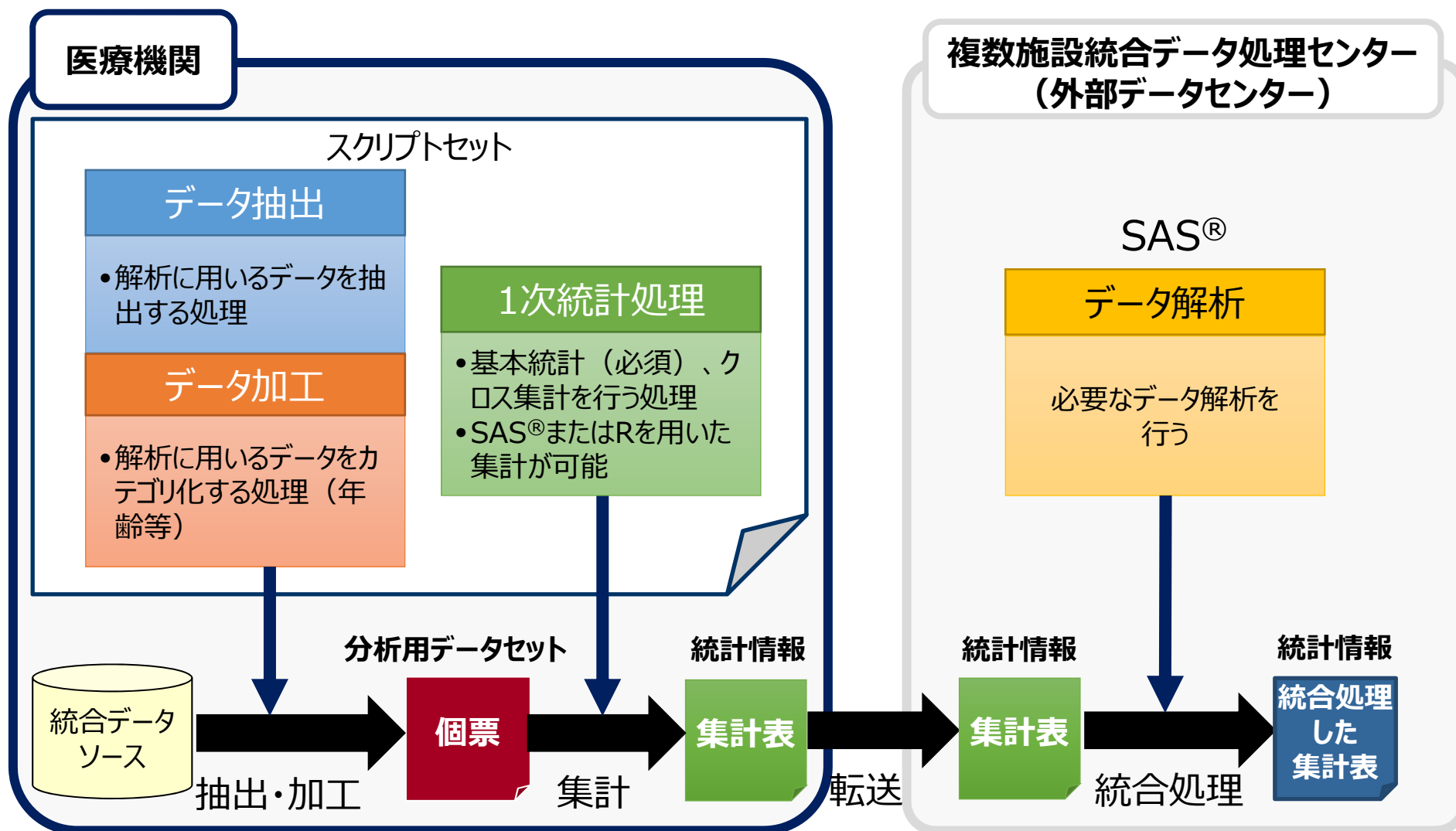
(2) 処理依頼を行う予定の協力医療機関名

■ 東北大学病院	■ 千葉大学医学部附属病院
■ 東京大学医学部附属病院	■ 浜松医科大学医学部附属病院
■ 香川大学医学部附属病院	■ 九州大学病院
■ 佐賀大学医学部附属病院	■ NTT東日本病院グループ
■ 北里研究所・北里大学グループ	■ 医療法人徳洲会グループ

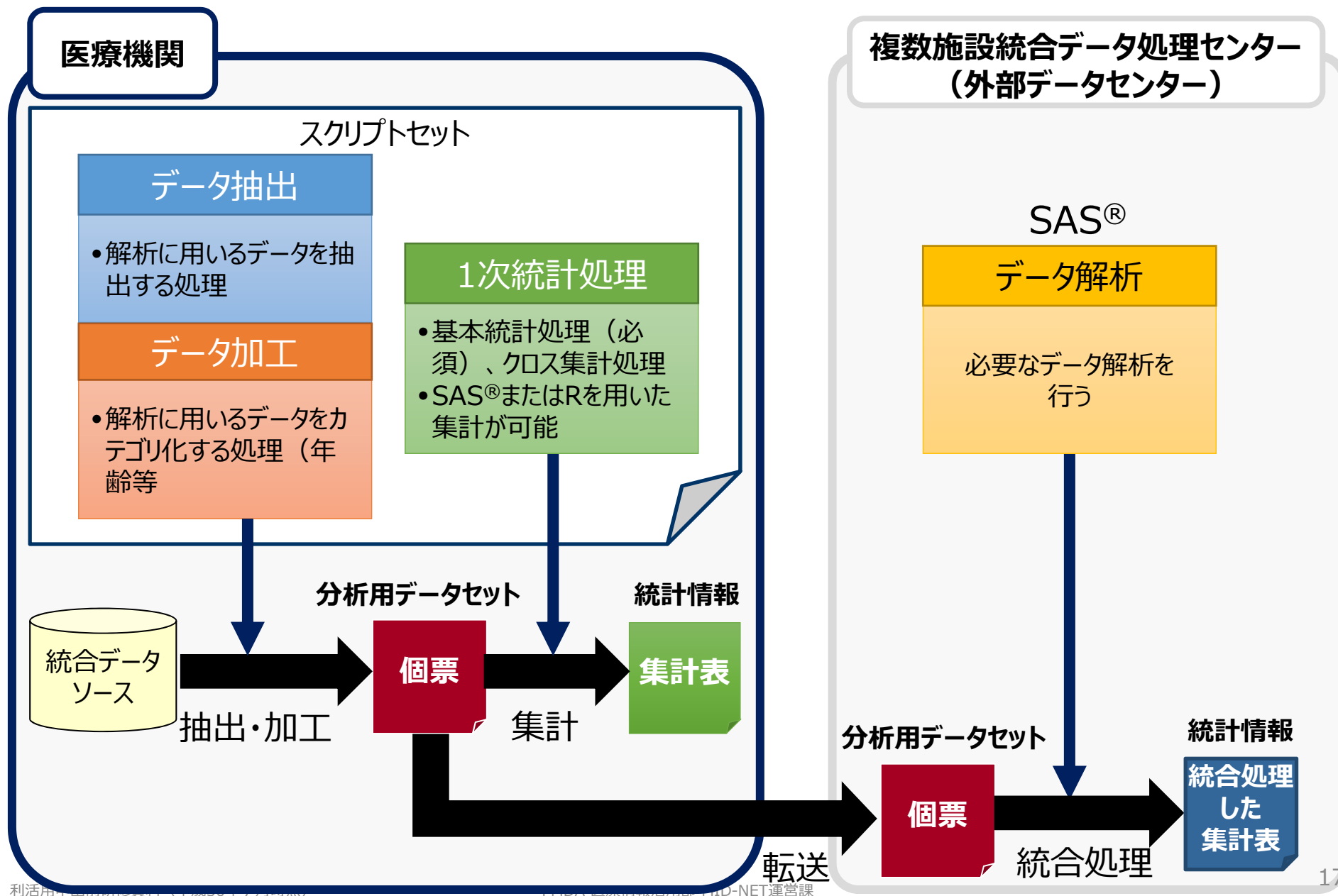
各協力医療機関からの転送を希望するデータの種類



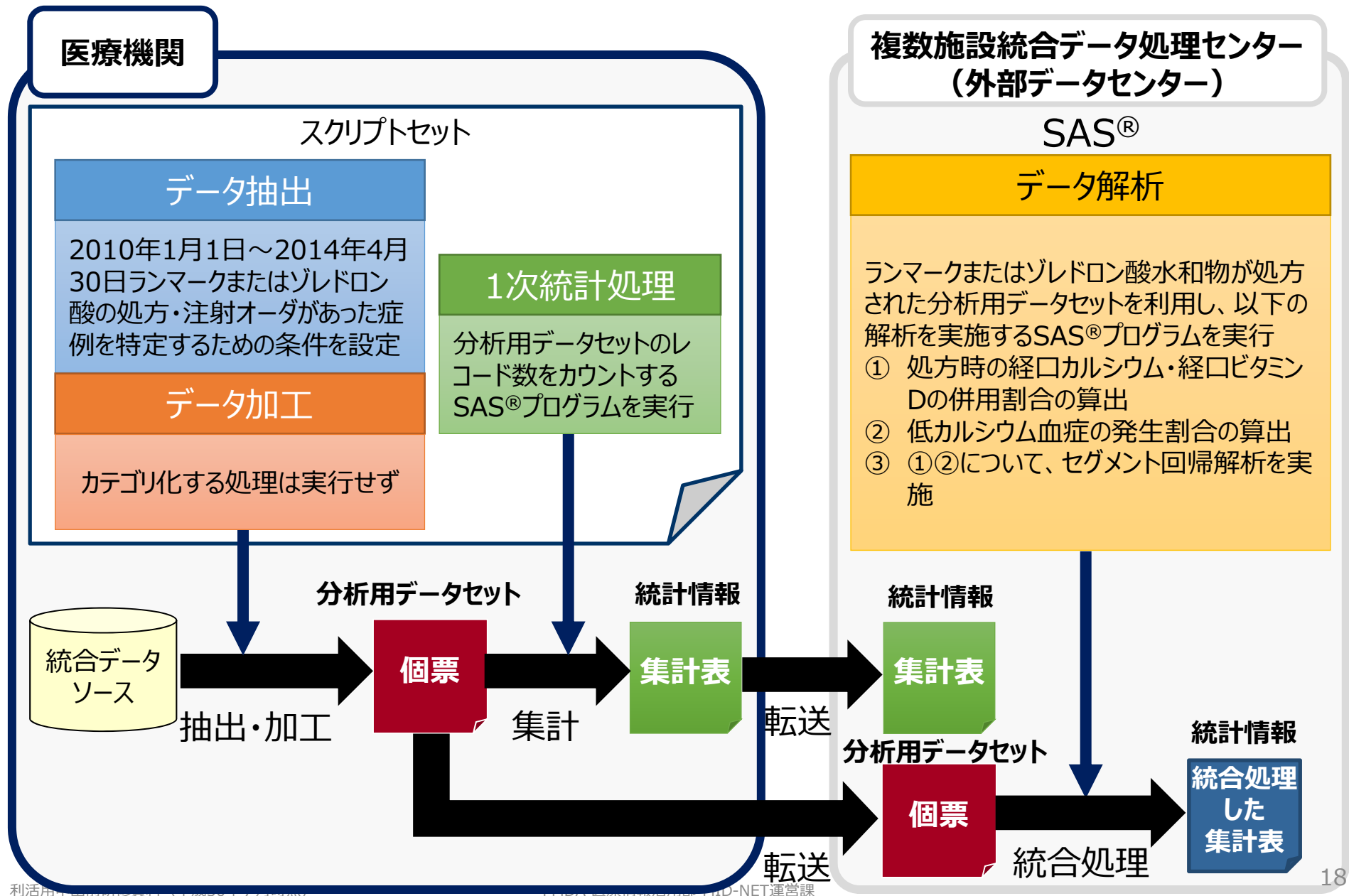
統計情報を利用する場合の流れ



分析用データセットを利用する場合の流れ



試行的調査における調査の流れ



③調査・研究の概要（利活用を予定する情報の範囲の記載例）

(3) 利活用する予定のテーブル名

電子カルテデータ (SS-MIX2)	<input type="checkbox"/> 来院等情報	<input type="checkbox"/> 傷病情報(病名オーダ)	<input type="checkbox"/> 傷病情報(退院サマリ)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 処方・注射オーダ	<input type="checkbox"/> 処方・注射オーダ(1日合計量)	<input type="checkbox"/> 処方・注射実施	<input type="checkbox"/> 処方・注射実施(1日合計量)
	<input checked="" type="checkbox"/> 検体検査情報	<input type="checkbox"/> 放射線検査情報	<input type="checkbox"/> 生理検査情報	<input type="checkbox"/> 細菌検査情報
DPC調査用データ (様式1/EF/外来EF)	<input type="checkbox"/> DPC患者情報	<input type="checkbox"/> DPC入退院情報	<input type="checkbox"/> DPC傷病情報	<input type="checkbox"/> DPC医薬品情報
	<input type="checkbox"/> DPC特定器材情報	<input type="checkbox"/> DPC医学管理料情報	<input type="checkbox"/> DPC手術情報	<input type="checkbox"/> DPC診療行為情報
レセプトデータ (医科)	<input type="checkbox"/> レセプト傷病情報	<input type="checkbox"/> レセプト医薬品情報	<input type="checkbox"/> レセプト特定器材情報	<input type="checkbox"/> レセプト医学管理料情報
	<input type="checkbox"/> レセプト手術情報	<input type="checkbox"/> レセプト診療行為情報		

テーブルの内容については、MID-NET[®]利活用者向け基本情報の「統合データソースのデータ項目」やMID-NET[®]利活用者向け詳細情報の「分析用データセットのテーブル定義書」等をご確認ください。

③調査・研究の概要（利活用を予定する情報の範囲の記載例）

(4) 抽出条件（抽出スクリプトの条件）

- どのような条件で統合データソースから解析に用いるデータを抽出するか説明する。
- 抽出条件は、抽出条件の概要を文章で説明し、抽出条件に用いる予定のテーブル名、抽出条件に用いる予定のコード体系、コードリスト、抽出対象となるデータ期間を示す。
- 抽出条件が複数ある場合には、条件間の関係性（or条件かand条件かnot条件*）を説明する。また、条件間に時間的な前後関係がある場合には、時間的な前後関係も明示する。

* not条件; 除外条件のこと

<試行的調査記載例>

- 抽出条件の概要
2010年1月1日～2014年4月30日に別添のコードリストに示す”抽出条件_ランマーク”または”抽出条件_ゾレドロン酸水和物”の処方・注射オーダをもつ症例を特定し、当該症例が保有する「(3) 利活用する予定のテーブル名」で選択したテーブルを出力する。ただし、検体検査情報の出力については、別添のコードリストに示す”出力条件_検体検査情報”の検査を出力する。
- データ抽出条件
 - 抽出条件に用いる予定のテーブル名：処方・注射オーダ
 - 抽出条件に用いる予定のコード体系：YJコード（抽出条件及び出力条件に設定するコードリストは別紙様式3）
 - 抽出対象となるデータ期間
 - 自 2010年1月1日
 - 至 2014年4月30日

抽出条件及び出力条件に設定するコードリスト

- MID-NETの利活用に関する申出書に、抽出条件及び出力条件に使用するコードリストを添付する必要がある。
- コードリストとして示すものは以下の通り。

利活用するテーブル名	解析対象集団の特定に用いるコードリスト	出力条件に用いるコードリスト
検体検査情報	必要	必要※
検体検査情報以外	必要	不要

※ 検体検査情報を出力する場合は、出力したい検体検査のJLAC10コードのコードリストが必要。

例：2010年1月1日～2014年4月30日にランマークまたはゾレドロン酸水和物の処方・注射オーダをもつ症例の、血清カルシウム、血清アルブミンの検査結果を出力したい場合

→ ランマーク、ゾレドロン酸水和物のコードリストに加えて、血清カルシウム、血清アルブミンのJLAC10コードのコードリストも作成する

MID-NET®で抽出条件及び出力条件に利用可能なコード

青字：MID-NET®で作成したマッピング表によって整備しているデータ項目

データ項目		電子カルテデータ (SS-MIX2)	レセプトデータ	DPC調査用データ
傷病	病名	ICD-10コード、病名交換用コード*8	レセ電算コード*1、ICD-10コード、	ICD-10コード
	疑い病名フラグ	JHSD表*7	—	—
	転帰区分	JHSD表*7、HL7表*7	電子レセ記録条件仕様*2に従う	—
	病名区分(主傷病等)	JHSD表*7	電子レセ記録条件仕様*2に従う	入力要領*3に従う
処方・注射	医薬品名	YJコード、HOTコード	レセ電算コード*1、YJコード	レセ電算コード*1、薬価基準収載医薬品コード
	単位	MERIT-9表*7	単位*4、MERIT-9表*7	単位*4、MERIT-9表*7
	用法	処方：JAMI標準用法規格*5 注射：使用者定義表*7、MERIT-9表*7	—	—
	投薬周期	処方：使用者定義表*6*7	—	—
	投薬経路	使用者定義表*7	—	—
検体検査	検査名	JLAC10コード	レセ電算コード*1	レセ電算コード*1
細菌検査	同定菌名	JANISコード*9	同定検査の実施：レセ電算コード*1	同定検査の実施：レセ電算コード*1
	塗抹検査名	JLAC10コード	レセ電算コード*1	レセ電算コード*1
放射線検査	検査名	—	レセ電算コード*1	レセ電算コード*1
生理検査	検査名	—	レセ電算コード*1	レセ電算コード*1
手術	手術名	—	レセ電算コード*1、Kコード	レセ電算コード*1、Kコード
診療材料	材料名	—	レセ電算コード*1	レセ電算コード*1
医学管理料	管理料名	—	レセ電算コード*1	レセ電算コード*1
全データ	診療科	電子レセ記録条件仕様*2の粒度で 設定+歯科	電子レセ記録条件仕様*2の粒度で 設定+歯科	電子レセ記録条件仕様*2の粒度で 設定+歯科

*1 レセプト電算処理システム用コード、*2 オンライン又は光ディスク等による請求に係る記録条件仕様、*3 「DPC導入の影響評価に係る調査」入力要領

*4 レセプト電算処理システムマスターファイル、*5 処方・注射オーダ標準用法規格、*6 一部の投薬周期のみ運用あり

*7 SS-MIX2 標準化ストレージ仕様書_コード表、*8 ICD10対応標準病名マスター (MEDIS)、*9 「厚生労働省院内感染対策サーベイランス事業」菌名コード (検査部門用)

利活用申出前研修資料 (平成30年7月時点)

PMDA 医療情報活用部 MID-NET運営課

MID-NET®利活用者向け基本情報の「採用標準コード一覧」より

コードリストの作成する際に利用可能な情報

- MID-NET[®]で抽出条件及び出力条件に利用可能な標準コードが一覧化された表がオンサイトセンターで閲覧可能
- この表に基づきコードリストを作成する

例：標準コードが一覧化された表のイメージ

YJコード	HOTコード	商品名	一般名	規格単位
3999423A1028	116576001	ゾメタ注射液4mg	ゾレドロン酸水和物	4mg5mL1瓶
3999423A1036	116576001	ゾメタ点滴静注用4mg	ゾレドロン酸水和物	4mg5mL1瓶
3999423A1044	116576001	ゾメタ点滴静注4mg/5mL	ゾレドロン酸水和物	4mg5mL1瓶
3999423A1052	123513501	ゾレドロン酸点滴静注4mg/5mL「F」	ゾレドロン酸水和物	4mg5mL1瓶
3999423A1060	123547001	ゾレドロン酸点滴静注4mg/5mL「NK」	ゾレドロン酸水和物	4mg5mL1瓶
省略				
3999423A3101	123427501	ゾレドロン酸点滴静注4mg/100mLバッグ「テバ」	ゾレドロン酸水和物	4mg100mL1袋
3999423A3101	123427502	ゾレドロン酸点滴静注4mg/100mLバッグ「テバ」	ゾレドロン酸水和物	4mg100mL1袋
3999423A4027	125186901	リクラスト点滴静注液5mg	ゾレドロン酸水和物	5mg100mL1瓶
3999435A1020	121365201	ランマーク皮下注120mg	デノスマブ（遺伝子組換え）	120mg1.7mL1瓶
3999435G1023	122391001	プラリア皮下注60mgシリンジ	デノスマブ（遺伝子組換え）	60mg1mL1筒

閲覧に係る手続きの詳細については、MID-NET[®]のホームページをご確認ください。

コードリストの作成する際に利用可能な情報（検体検査）

- 協力医療機関での検査実施頻度及び安全対策上の重要性を考慮し、選定した約200件の検査項目に対して、MID-NET[®]で採用するJLAC10コードを付与している
- 検査項目の詳細は、MID-NET[®]利活用者向け基本情報の「検査項目別集計（集計表）」や標準コードが一覧化された表を確認
- 例：検査項目別集計（集計表）（一部抜粋）

JLAC10コード（測定法コード不問）	JLAC10名称
3B0450000023***01	GPT_血清_定量値
3B0350000023***01	GOT_血清_定量値
3C0250000023***01	尿素窒素_血清_定量値
3H0150000023***01	カリウム_血清_定量値
3C0150000023***01	クレアチニン_血清_定量値
3B0500000023***01	LDH_血清_定量値
3B0900000023***01	g -GTP_血清_定量値
3H0200000023***01	クロール_血清_定量値
3B0700000023***01	アルカリフォスファターゼ_血清_定量値
2A9900000019***58	末梢血液一般検査_全血(添加物入り)_MCHC
3A0150000023***01	アルブミン_血清_定量値
3H0300000023***01	カルシウム_血清_定量値

抽出条件に設定するコードリストの記載例

- 抽出条件に設定するコードリスト

利用するテーブル名	利用するコード分類	利用するコード体系	条件設定するコード	コード名が指すもの
処方・注射オーダ	抽出条件_ゾレドロン酸水和物	YJコード	3999423A1028	ゾメタ注射液4mg
処方・注射オーダ	抽出条件_ゾレドロン酸水和物	YJコード	3999423A1036	ゾメタ点滴静注用4mg
処方・注射オーダ	抽出条件_ゾレドロン酸水和物	YJコード	3999423A1044	ゾメタ点滴静注4mg/5mL
処方・注射オーダ	抽出条件_ゾレドロン酸水和物	YJコード	3999423A1052	ゾレドロン酸点滴静注4mg/5mL「F」
処方・注射オーダ	抽出条件_ゾレドロン酸水和物	YJコード	3999423A1060	ゾレドロン酸点滴静注4mg/5mL「NK」
処方・注射オーダ		YJコード		省略
処方・注射オーダ	抽出条件_ランマーク	YJコード	3999435A1020	ランマーク皮下注120mg
検体検査情報	出力条件_検体検査情報	JLAC10コード	3A015000002327101	アルブミン_血清_定量値
検体検査情報	出力条件_検体検査情報	JLAC10コード	3H030000002327101	カルシウム_血清_定量値

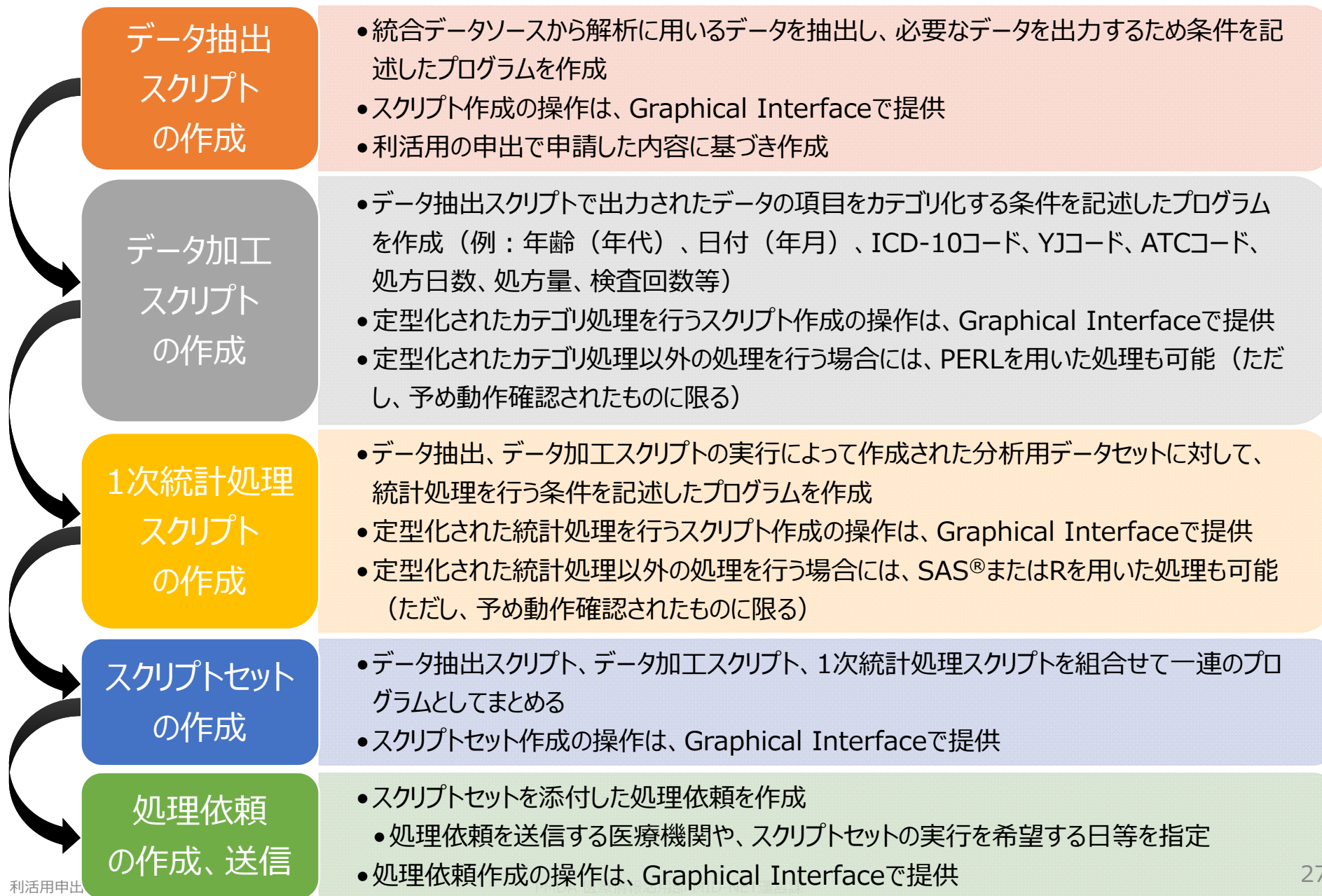
標準コード付与ルールや留意事項については、MID-NET®利活用者向け詳細情報「標準化に係る留意事項（標準コード付与ルールを含む）」をご確認ください。また、コードリストについては最新の様式に従って作成をお願いします。

本日の内容



スクリプトの作成・医療機関への依頼の詳細はMID-NET®の利活用に関する承認後に実施する研修にて説明

スクリプトの作成手順



スクリプト作成画面のイメージ

データ抽出スクリプト作成画面

MID-NET 条件作成 スクリプト作成 fmda

1. 基本条件 編集 ▼ ▲

スクリプトID: 未採番
スクリプト名称: < >

2. 条件一覧 新規追加 条件取込 編集 削除

新規条件1 (編集)

3. 出力項目 編集

条件名: 新規条件1 結合条件 and or not 日付and

来院等・患者情報 傷病情報 処方・注射 検査情報 入退院情報 特定器材情報 診療行為情報 ▼ ▲

処方・注射 > SS-MIX2 > テキスト

絞り込み条件

抽出キー: YJコード > 同一薬効: 4桁指定 ▼ 単位別表示 表示なし 換算単位 ローカル単位
※YJ8桁、YJ全桁、HOT7、HOT9選択時のみ有効

使用歴有りに限定 (ATCコード以外選択時有効)

検索文字: 検索 商品名 一般名 YJ HOT ATC

検索結果: コード取込 << 最前 < 前へ 1/1 次へ > 最後 >>

<input type="checkbox"/> YJ4桁	商品分類名称	使用	商品名
<	>	<	>

データ種別: オーダ情報 ▼ 日付キー 開始日

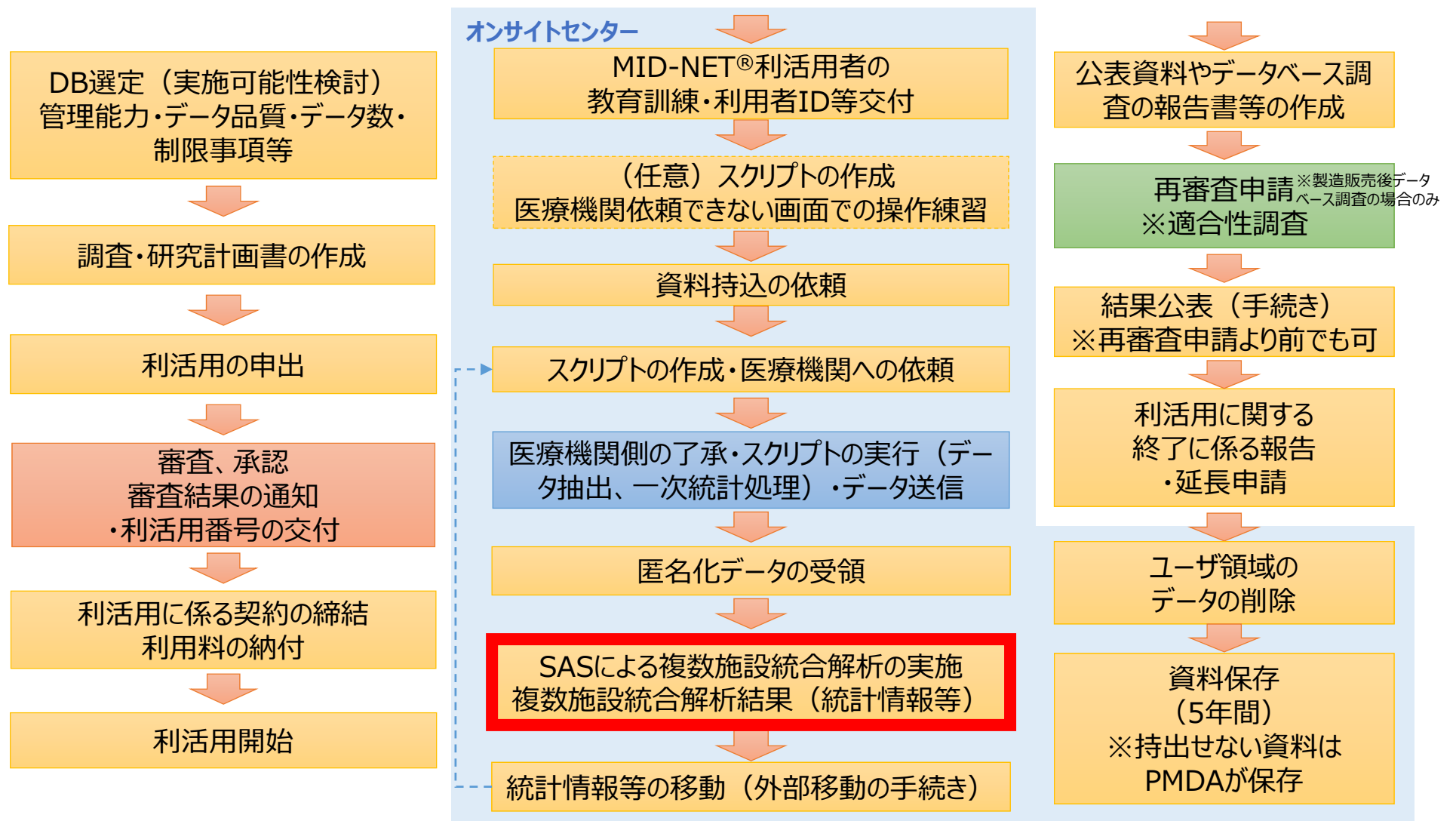
補足条件: クリア

選択条件 ※条件が複数の場合、条件間の関係は or となります。 削除 確定

<input type="checkbox"/> No	分類	条件内容	
<	>	<	>

保存 実行 ファイル取込 ファイル出力 閉じる

本日の内容



複数施設統合解析の詳細はMID-NET®の利活用に関する承認後に実施する研修にて説明

複数施設統合解析画面イメージ

- SAS® Enterprise Guide®を操作して統合解析を実施※

The screenshot displays the SAS Enterprise Guide interface with a data table. The table has the following columns: 拠点ID (Facility ID), コホート区分 (Cohort Division), 施設ID (Facility ID), 群の種類 (Group Type), 群の名称 (Group Name), 単体データ件数(群) (Single Data Count), 単体患者数(群) (Single Patient Count), 累計データ件数(群) (Cumulative Data Count), 累計患者数(群) (Cumulative Patient Count), ブロック結合子 (Block Connector), ブロック名称 (Block Name), 単体データ件数(ブロック) (Single Data Count), 単体患者数(ブロック) (Single Patient Count), 累計データ件数(ブロック) (Cumulative Data Count), and 累計患者数(ブロック) (Cumulative Patient Count).

拠点ID	コホート区分	施設ID	群の種類	群の名称	単体データ件数(群)	単体患者数(群)	累計データ件数(群)	累計患者数(群)	ブロック結合子	ブロック名称	単体データ件数(ブロック)	単体患者数(ブロック)	累計データ件数(ブロック)	累計患者数(ブロック)
1 008		00	対象集団	対象集団	396	44	396	44		SSMD2処方...	52	26	.	.
2 008		00	対象集団	対象集団	396	44	396	44		SSMD2処方...	52	26	.	.
3 008		00	対象集団	対象集団	396	44	396	44		SSMD2処方...	52	26	.	.
4 008		00	対象集団	対象集団	396	44	396	44	OR	SSMD2	150	24	202	.
5 008		00	対象集団	対象集団	396	44	396	44	OR	SSMD2	150	24	202	.
6 008		00	対象集団	対象集団	396	44	396	44	OR	SSMD2	150	24	202	.
7 008		00	対象集団	対象集団	396	44	396	44	OR	SSMD2	150	24	202	.
8 008		00	対象集団	対象集団	396	44	396	44	OR	SSMD2	150	24	202	.
9 008		00	対象集団	対象集団	396	44	396	44	OR	SSMD2	150	24	202	.
10 008		00	対象集団	対象集団	396	44	396	44	OR	SSMD2	150	24	202	.
11 008		00	対象集団	対象集団	396	44	396	44	OR	SSMD2	150	24	202	.
12 008		00	対象集団	対象集団	396	44	396	44	OR	DPCレセ	194	15	396	.
13 008		00	対象集団	対象集団	396	44	396	44	OR	DPCレセ	194	15	396	.
14 008		00	対象集団	対象集団	396	44	396	44	OR	DPCレセ	194	15	396	.
15 008		00	対象集団	対象集団	396	44	396	44	OR	DPCレセ	194	15	396	.
16 008		00	対象集団	対象集団	396	44	396	44	OR	DPCレセ	194	15	396	.
17 008		00	対象集団	対象集団	396	44	396	44	OR	DPCレセ	194	15	396	.
18 008		00	対象集団	対象集団	396	44	396	44	OR	DPCレセ	194	15	396	.
19 008		00	対象集団	対象集団	396	44	396	44	OR	DPCレセ	194	15	396	.
20 008		00	対象集団	対象集団	396	44	396	44	OR	DPCレセ	194	15	396	.
21 008		00	対象集団	対象集団	396	44	396	44	OR	DPCレセ	194	15	396	.
22 008		00	対象集団	対象集団	396	44	396	44	OR	DPCレセ	194	15	396	.
23 008		00	対象集団	対象集団	396	44	396	44	OR	DPCレセ	194	15	396	.
24 008		00	対象集団	対象集団	396	44	396	44	OR	DPCレセ	194	15	396	.
25 008		00	対象集団	対象集団	396	44	396	44	OR	DPCレセ	194	15	396	.
26 008		00	A群	A群	14	10	14	10		ブロック1	14	10	.	.
27 008		00	B群	B群	14	10	14	10		ブロック1	14	10	.	.
28 008		00	A群(条件該...	A群(条件該...	9	9	9	9		ブロック1	9	9	.	.
29 008		00	A群(条件非...	A群(条件非...	.	1	.	1		
30 008		00	B群(条件該...	B群(条件該...	9	9	9	9		ブロック1	9	9	.	.
31 008		00	B群(条件非...	B群(条件非...	.	1	.	1		

※SASプログラムでも実行可能

(画面表示はダミーデータ)